

鈴木重男町長

無投票再選

就任ごあいさつ

この度、多くの町民の皆さまからのご支援を賜り、再び町政を担当することとなりました。3月の東日本大震災後、社会情勢が混迷した状況にあるなか、皆さまから寄せられた信託の重大さを改めて痛感しているところです。

その信頼と期待に応えるべく、次代を見据え一歩先行くりーダーシップを発揮し、町民と一体となった光り輝くまちづくりのため、諸課題に誠心誠意取り組んで参ります。

1期目就任当時から、全国の山村は厳しい財政状況と平成の大合併などで、将来への夢や希望を持てず疲弊した状況にありました。そのような中で「自立の町」を目指し、山村が持つ豊かさや魅力を再認識しながら

「夢」に挑戦する町づくりを進め、皆さまが住み続けたいと思える町、誇りを持てる町としての山村モデルの創造に努めてきました。特に町財政の健全化をはじめ、葛巻病院の経営健全化や医師確保、酪農・林業などの基幹産業の振興など「自立の町」の基盤固めに努めました。

また、安全・安心のための情報基盤整備や高齢者福祉、子育て、教育環境の充実、交流人口の増加対策や移住定住対策を推進し「夢のある町づくり」にも取り組むこともできました。この4年間で公約の多くを果たすことができましたことは、町民の皆さまのご理解とご協力によるもので感謝を申し上げます。

これからの4年間におけるまちづくりは、「皆さんの声を結集し、安心を実現する町政を行い、山村の持つ機能を活用した一歩先行くまちづくり」に全力を尽くす決意であります。

安心して暮らせる まちづくりを目指します

と考えております。

これらの取り組みが結果として、葛巻町を「住み良いまち」「住み続けたいまち」とし、町民がここに住み続けていくことが、この町に「誇り」と「夢」をもたらしてくれるものと信じています。

現在、町政のみならず国・県をとりまく環境は大変厳しい状況にあり、特に震災後は先行きの見えない不安感が増大しております。こういう時だからこそ、町民一人一人が、お互いの立場を尊重し合い、支え合い、

絆を深めていくことが大事だと思っています。まさにピンチは大きく伸びるチャンスなのであります。

次代を担う子どもたちのために、葛巻の明るい未来のために、今、私たちが出来ることは何なのかを共に考え歩み出しましょう。

最後に、「町民と一体となった光り輝くまちづくり」を実現するため、誠心誠意全力で取り組みますので、町民の皆さまには、より一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。再任のごあいさつといたします。

任期満了に伴う葛巻町長選挙は、8月2日告示され現職の鈴木重男氏のほかに立候補の届け出はなく、無投票再選が決まりました。
2期目となる鈴木重男町長の任期は平成23年8月28日から4年間です。

町消防団長の長岡宏さん 消防功労者総務大臣表彰



平成23年度消防功労者総務大臣表彰に町消防団長の長岡宏さん（70歳・新町）が選ばれました。長岡さんは昭和41年に町消防団に入団。第2分団の分団長を務めたあと、昭和62年から町消防団副団長、平成9年からは団長を務めています。

特に若手の育成や消防技術の向上に積極的に取り組み、4度の全国消防操法大会出場を果たしました。

また、平成18年10月の大雨災害時や昨年12月の大雪災害時には、情報収集や災害発生危険箇所巡回点検の実施を指示し、災害の未然防止、人命の保護に全力を尽くされました。このような功績などが認められ、今回の表彰となりました。

長岡さんは「私個人のものではなく、団員一人一人の忠実な活動や、指導いただいた分署員や町の方々のご尽力の賜物と思っています」と語りました。



当選証書付与式は8月8日行われ、下屋敷利美町選挙管理委員長から鈴木重男氏に当選証書が手渡されました。



2期目の初日にあたる8月28日、小田地区で行われた町総合防災訓練でがれき撤去の訓練を見守る統監の鈴木町長。